

野生動物を守るための

講演会

獣医師の仕事

獣医師の仕事は「動物のお医者さん」というイメージがありますが、じつは動物の治療以外にも様々な役割があります。そのなかでも、野生動物の保全につながるような獣医師の役割を、動物園で働く獣医師と開業獣医師の活動という二つの側面から紹介します。



事前申し込み制

場所 本園 彫刻館 B 館
定員 高校生以上 60 名

2011 年 6 月 26 日 [日] 13 時 ~ 15 時 45 分

お話1 「動物園獣医師の関わり」

井の頭自然文化園園長 成島悦雄

動物園獣医師の患者さんは主に動物園でくらす野生動物たちです。野生動物といっても野外から連れてこられた動物は少なく、多くは動物園や繁殖施設で生まれた動物です。私たちは純粋な野生動物と区別して、動物園で飼育されている動物を動物園動物と呼んでいます。人に飼われることに慣れている動物園動物ですが、長い期間かけて飼いなされた家畜とは異なります。野外で生き抜く能力が高い反面、人との接触は好みません。病気に関するデータも少なく、健康管理も家畜とまったく同じではありません。動物園動物の健康管理を行うために、動物園獣医師はどのように動物と向き合い、どのような方法を使って診療にあたっているのでしょうか？また、動物園動物の診療で得られた技術と経験をもとに、野生動物の保全にどのように関わられるのでしょうか？ささやかですが私の動物園での経験をもとに、これらについてお話したいと思います。

お話2 「開業獣医師の関わり」

東京都獣医師会野生動物対策委員 高橋恒彦

最近、街ではお洒落な動物病院を良く見かけます。そんな犬猫を主に診察している開業獣医師でも、野生動物との関わりがあります。皆さんは、野生動物といったらどんな動物を想像しますか？山奥にすむクマやシカもそうですが、スズメやメジロも身近な野生動物です。そんな動物たちが傷ついて保護されたとき、行政との連携により開業獣医師のもとへやってきます。さて、それから傷病鳥獣たちはどんな治療を受けるのか、その実際をお話します。

また、私達の住む東京都には、東洋のガラパゴスと言われ、世界的にも貴重な海洋島、小笠原諸島があります。この島には絶滅の危機に瀕した希少生物が多く存在し、その保護には外来生物対策が急務と言われています。なかでも希少野生動物の脅威となっているのが、意外にも我々の身近にいるネコなのです。まるでネコが悪者で加害者のようですが、そのネコも実は被害者なのです。希少野生動物も猫も共に救おう、との考えから都会でも暮らせるネコたちを島外搬出して、我々開業獣医師のもとで本来の姿である飼いネコに戻しています。その実際を後半でお話します。

■申込方法

Eメールまたは往復はがきで下記のとおりお申し込みください。応募者多数の場合は抽選をおこない、当落にかかわらずお知らせします。【締切】2011年6月10日(金) *郵送の場合：6月10日消印有効

【Eメール】

inokashira_park_zoo@tzps.or.jp 宛に、件名を「獣医師の仕事講演会」とし、本文に希望者全員の氏名・年齢および代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送り下さい。

【注意】お申し込みの際は、@tzps.or.jpからのインターネットメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください(特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。)

【往復はがき】

希望者全員の氏名・年齢、代表者の住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、返信面に代表者の住所・氏名を記入して、下記あて先までお送り下さい。

〔あて先〕

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-17-6
井の頭自然文化園 「獣医師の仕事講演会」係

井の頭自然文化園

【開園時間】午前9時30分～午後5時(入園は4時まで)

【休園日】毎週月曜日(祝日や都民の日に当たるときは翌日)、12月29日～1月1日

【入園料】一般 400円 65歳以上 200円 中学生 150円 *小学生及び都内在住、在学の中学生は無料

【お問合せ】武蔵野市御殿山1-17-6 TEL:0422-46-1100 <http://www.tokyo-zoo.net/>